



新米のお味はどうですか？

おいしい新米を試食

米づくりを体験する、今年4回目の子どもチャレンジ塾が10月18日に実施され、収穫した稲の脱穀作業と新米の試食会が行われました。

6月に追分美園で農業を営む武田忠雄さんの田んぼで田植えをし、9月に収穫してはさがけをしていた稲を昔使っていた千歯^{せんば}で脱穀した後、もみから玄米を取って精米。

農村文化センターでは、参加者が刈り取った米で炊いたご飯と豚汁が出され、全員が新米をおいしそうに味わっていました。

最後に、精米され1.5キログラムずつに袋詰めした米が受講した方々に配られました。



美しい音色に酔いしれる
10月3日 追分公民館でブラハ・バロック合奏団のコンサートが開催されました。
これは生涯学習フェスティバル（10月1日～3日実施）の事業の一つで、休憩をはさみチエコの優れた音楽家が14曲を次々と演奏。会場に集まった約420人の聴衆はバイオリンやフルートなどの美しい音色と極上のハーモニに酔いしれ、アンコールを求めめる拍手が送られると奏者たちは再びステージに戻り演奏を開始。多くの町民を満足させた質の高いコンサートでした。

軽快なステップでジルバやブルース

10月11日 追分ダンス愛好会主催による第33回チャリティ・ダンスパーティが追分公民館で行われ、札幌や苫小牧市など町内外から約130人が集まりました。

ジルバやブルースなどの曲が流れると、カラフルなコスチュームを着て専用シューズに履き替えた男女がペアを組み、軽快なステップでダンスを楽しんでいました。

1曲2～3分の時間ですが、席に戻るころには額に汗が流れるほどの運動量。タオルで汗を拭いたり、うちわで風を送る光景が随所に見られました。汗が引くと、パートナーを変えて再び踊りの中に……。休憩のときは、長年親交を深めた仲間たちと気さくに談笑するなど、場内は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

受付にはチャリティの募金箱が設置され、集まったお金は安平町社会福祉協議会に寄付されました。



知らぬもの同士が軽快なステップでダンス